

研究課題名	スマートデバイスを用いた煙中避難時のストレス定量化に関する実験的研究
研究期間	実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	本研究（E2021-2457（E-2457））について既に文書にて同意済の研究対象者の皆様
研究の目的・方法	<p>研究目的：避難時の歩行速度とストレスの定量化から基本的なデータを得ることで、煙中を避難する際にどういったストレスを感じるのか、そしてストレスと歩行速度との相関を明らかにし定量化することを目的とします。</p> <p>研究の方法：煙を充満させたテント内に入り、その中で研究対象者に緊急避難を行ってもらい、その速度を計測します。ストレス計測のため、腕巻き式活動計を巻き、実験中の心拍数を計測します。実験前後で血圧・心拍数を計測し、唾液を採取した後、実験後アンケートを実施します。詳細については同意取得時にお渡しした説明文書にてご確認ください。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：アンケート・心拍数・血圧・測定値</p> <p>試料：唾液</p>
外部への試料・情報の提供	金沢大学への試料送付は誰のものか分からないよう研究用識別コードを付した状態で郵送します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2021 年 5 月 24 日）以降
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理し、外部へ提供することはありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者（研究代表者）</p> <p>広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授 清家 美帆</p> <p>研究機関の長</p> <p>広島大学理事 田中純子</p> <p>共同研究機関</p> <p>金沢大学 子どものこころの発達研究センター 辻 知陽</p> <p>首都高速道路株式会社 三瓶 靖弘</p> <p>青山学院大学 楽 詠瀬</p>
その他	この研究は共同研究機関である首都高速道路株式会社から共同研究費等の提供がありますが、研究の実施や解析、結果の解釈等に影響を及ぼすこ

	<p>とはありません。なお、利益相反に関しては広島大学臨床研究利益相反管理委員会で管理しています。</p> <p>また、研究に変更が生じた場合も現在ご覧いただいている HP にて変更した情報を公開しますのでご確認ください。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学大学院先進理工系科学研究科理工学融合プログラム  研究責任者氏名：清家 美帆          職名：准教授  電話：082-424-6928 （代表）  E-mail: mihoseike@hiroshima-u.ac.jp</p>